

事務事業名		佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策 体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当 組織	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係	文化振興係	担当課長名	浅野良一	
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2	文化財の適切な保存と継承				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算 科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2002	一般	2	1	16	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事					
	事業 計画	単年度繰り返し	事業 期間	H2年度～ 年度		根拠 法令 条例等	佐野市補助金等交付規則				
		事業区分		市単独事業・国県補助事業		任意的事業・義務的事業			任意的事業		
		実施方法		一部委託			事業分類		支援事業		
		リーディングプロジェクト		該当なし			市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市郷土芸能保存会連絡協議会に団体の 人材育成と運営費補助としての補助金を交付 している。  佐野市郷土芸能保存会連絡協議会は、各保 存会等の連絡調整を図り、郷土芸能の保存、 保護に寄与することを目的として、市内15団 体で構成している。 平成23年度から旧市町の団体が統合され、 協議会へ一本化した。			(市の活動)協議会に補助金を支出するための手続き(実績報告書、申請書、交付決定、補助金交付)や、連 絡協議会に事務局活動(総会、役員会、監査、資料作成、準備、連絡)イベントの手伝いを行っている。 (佐野市郷土芸能保存会連絡協議会の活動) ・第25回郷土芸能フェスティバルの開催 1月25日(日)、場所:道の駅どまんなかたぬま 9団体参加 ・映像保存事業として、ビデオで各団体の活動の内容を保存する事業をおこなっており、「野州小桜」は完成し た。現在、佐野郷土文化保存会の記録を作成中。							
			活動指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	
			協議会加入団体会員数	人	334	322	400	400	400	
			加入団体数	団体	14	15	15	15	15	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①佐野市郷土芸能保存会連絡協議会			対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	
			佐野市郷土芸能保存会連絡 協議会会員数	人	334	322	400	400	400	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①協議会の円滑な運営と財政の健全化を図 ることにより、継続して郷土芸能の保存・伝承 活動が続けられる。 ②後継者育成にもつながる。			成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	
			事業等の来場者数	人	17,032	10,908	12,000	12,000	12,000	
			子どもの参加人数	人	50	65	120	120	120	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
有形無形の文化財を適切に保存保護し、継承 して後世に残す。			上位成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	
			伝統文化の発表の場への参 加団体数	団体	10	9	11	11	12	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業 費 投入 量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	698	690	690	690	690	
	事業費計(A)	千円	698	690	690	690	690	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	698	補助金	690	補助金	690
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	757	757	757	757	757		
人件費計(B)	千円	2,945	2,983	2,983	2,983	2,983		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,643	3,673	3,673	3,673	3,673		

事務事業名	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課	担当係	文化振興係
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成2年11月に、郷土芸能の保存、保護を図ることを目的に旧佐野市で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	各団体の設立の目的や設立時に比べて、環境が大きく変わってきている。また、高齢化が進み、後継者育成が必要となっている。 協議会では、合併後から旧田沼・旧葛生地区の団体に呼びかけ、2団体に協力を得ていたが、平成22年度に話がまとまり、23年度に一本化が図られた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	協議会へ更なる支援をいただきたい。また後継者育成にも支援願いたいとの要望あり。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	郷土芸能フェスティバルに「さのまる」を派遣してもらい、より広い年齢層に大会への関心をもってもらうようにした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会を支援することにより、本市の郷土芸能の保存・保護が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会を支援することにより、市の郷土芸能の保存、保護が図られるとともに郷土芸能の伝承が図られる。 地域の伝統文化・芸能の保存保護は行政の責務でもあるため、市で行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会を支援することにより、本市の郷土芸能の保存、保護が図られる。 郷土芸能の伝承・保存をしている団体の育成が図られる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会の支援・充実を更に図ることや、発表の場を増やすことにより、市民の郷土芸能に対する意識が高まる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、郷土芸能の保存、保護を図るためには、現状維持が必要なため、削減は見込めない。 人件費については、現在職員2名で、効率的に事務が進んでいるので、削減の余地はない。また、イベント開催時には、担当課職員が手伝っているため、削減はむずかしい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	協議会は、加入団体から会費を徴収している。各団体とも会員から会費を徴収している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 連絡協議会が、自立して、後継者育成事業や協議会の運営を問題なく行えるようになれば、廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 郷土芸能に対する市民の意識を高めることと、団体の高齢化により伝統継承を途絶えさせることがないよう、郷土芸能の映像保存を行っていく。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	市の広報、ポスター等によるPR。 映像記録保存に協力してもらえる団体を募る。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					